

花咲スポーツ公園再整備基本構想(案)に対する意見提出手続の結果について

○意見募集期間 令和6年2月15日（木）から令和6年3月15日（金）

○意見提出数 8件（個人6件 団体2件）

※御意見につきましては、原則、原文のとおりとしておりますが、一部読みやすくするために要約・修正を行っています。

また、御意見の内容ごとに整理し、個人情報や個人の事案に関する表現等については、削除や訂正をしております。

※賛否のみを示した御意見や、匿名により提出者を特定できない御意見、本案件に対するものではない御意見のほか、意見未記入のものについては、計上・公表・回答の対象としておりません。

No.	寄せられた御意見	意見に対する市の考え方
1	<p>1 これからの急激な高齢化人口減に対して、利用者の算定を慎重にしないとコスト削減とサービスの質のバランスがとりにくいのではないのでしょうか。</p> <p>2 新アリーナをコンベンションやライブ・コンサートなどに使うとしたら新市民文化会館の建設構想と情報交換しなければバッチングするのではないかと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少や高齢化のほか、スポーツをする市民の割合や新たなスポーツへのニーズなど、様々な視点で新アリーナの在り方を検討してまいります。 新アリーナと新市民文化会館では、可能収容客数が異なるため、コンテンツの棲み分けは可能と考えておりますが、関係部局と情報共有しながら検討してまいります。
2	<p>体育館の今後について、とても夢のあるプランだと感じました。</p> <p>現在の花咲体育館には、メインアリーナにバドミントンコートが12面とることができ、小学生から高校生までの全道大会を行うにはコート数が少なく、16面～18面が必要です。</p> <p>さらに、今後全国大会なども誘致することを考えると、現在の案である12面は少なすぎます。せめて、16面とることができる体育館を建設していただかないと、全道・全国大会を誘致することができません。大きな大会を誘致すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想(案)では、花咲スポーツ公園の新アリーナと東光スポーツ公園の体育館で各競技の全国大会に対応可能な規模を想定しております。 基本計画の検討の際には、他都市のアリーナ等の情報を参考に、各スポーツ団体の皆様方との意見交換や、今回戴いたご意見等を参考にしながら、より良い施設となるよう取組を進めてまいります。

	<p>で、町の経済効果も期待できるだけでなくバドミントンをする、未来ある子どもたちの技術力も向上し、旭川から全国大会上位へ進出する選手も増えることと思います。</p> <p>東光は交通の便が悪く、できれば花咲公園に大きな体育館を建設するべきと考えます。</p> <p>現在は、釧路・帯広・函館などに大きな体育館があり、全国大会などの誘致が成功しています。最近できた帯広の体育館は、旭川市が目指す体育館としてとても参考になる体育館ですので、コンパクトで実用性のある体育館の建設をお願いいたします。</p>	
3	<p>スタルヒン球場と東光ドリームスタジアムの両方とも屋根が設置されると良いと思う。(ほか1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> いただいた御意見につきましては、今後の事業等を検討する際の参考とさせていただきます。
4	<p>【新アリーナ基本構想】</p> <p>① 大規模大会が実施できる施設～プロフィットセンターの役割⇒興業要素</p> <p>バレー、バスケット、バドミントン、フットサル、柔道など各競技における全日本レベルの大会、日本リーグレベルの大会を余裕をもって誘致できる施設。</p> <p>(施設例)</p> <p>フロア・観客席(何席以上)・チームアップ会場・記者室・カメラマン室・放送ブース・更衣室+シャワー室・控え室・駐車場 等</p> <ul style="list-style-type: none"> 各競技における全道・全国大会開催における経済効果は極めて大きいと考えます。 主な室内スポーツの全日本レベルの大会の基準を満たすことで、他の全道大会および日常の市民利用のニーズは解消できると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想(案)では、東光スポーツ公園と合わせて全国規模の大会への対応のほか、プロスポーツなどの活用によりプロフィットセンターを目指すとしております。 また、令和6年度以降に花咲スポーツ公園における新アリーナ及び既存施設再整備に関する基本計画の策定を予定しております。 基本計画の検討の際には、今回戴いたご意見のほか、各スポーツ団体の皆様方や、興行利用が予想されるプロスポーツチーム、イベント事業者等とも意見交換をさせていただき、より良い施設となるよう取組

- ・北北海道の拠点都市として大規模大会を実施できる施設の建設およびプロスポーツを含め全日本クラスの大会誘致は、旭川のスポーツ行政の役割と考えます。（近隣市町村のためにも）

② 中途半端な施設にならぬよう予算を確保

- ・今後40年50年の旭川の地域スポーツ経済の発展が決まる一大事業であることから覚悟をもって予算の確保をお願いしたい。
- ・多くの他自治体との比較と情報集約の上で旭川なりの施設建設をお願いしたい。

③ 各競技団体の要望や意向の反映

- ・各競技団体の要望や意向を十分に汲んでいただきたい。

【陸上競技場】⇒新アリーナ基本構想に同じ

- ① 大規模大会が実施できる施設～プロフィットセンターの役割⇒興業要素
サッカー天皇杯の1, 2回戦, 全国社会人大会等の試合誘致が可能レベル
- ② 中途半端な施設にならぬよう予算を確保
- ③ 各競技団体の要望や意向の反映

【花咲球技場】

- ① 人工芝化
- ② 陸上競技場にて大規模大会開催可能であれば、現状の市民利用施設として

《本協会と施設の現状》

□大きな大会の打診はあるが、施設不備のため却下されてきています。

- ・R6年度の天皇杯全日本サッカー選手権大会, J1チームの試合開催の打診がありましたが、大会運営担当者が陸上競技場視察の結果開催不可能と判断され

を進めて参ります。

ました。

- 昨年度インターハイサッカー決勝は、規定に満たなかったが、高体連の方でなんとか許可してもらい実施できました。
- かつてもJリーグのOB戦などの打診もありましたが、条件を満たせずお断りしています。

□Fリーグ開催会場確保の苦慮

- Fリーグ開催(シーズンは冬季)のため、大雪アリーナを使用させていただいているが、冬期間はスケートリンクとなるため毎年の開催調整で、Fリーグチームに迷惑をかけている状況です。
- 数年前より札幌以外での地方開催の数が半分に減らされましたが、Fリーグチームからも、旭川開催が一番集客があり、またチーム発足時より多くの旭川出身者が所属していることから、旭川開催を優先的に設定させていただいています。

《まとめ》

現在の体育施設の構造がすべてあと少しの広さや基準を満たしていないということで、本協会でも、たくさんの大規模大会や各種全道大会の打診があるにもかかわらず、すべて実施できず、断らざる得ない状況でした。これは旭川市の経済効果の面でも大きなマイナスであると考えます。

また、是非令和6年度の花咲スポーツ公園新アリーナ基本計画の段階で各スポーツ団体の意見をくみ取っていただきたいと思います。

5	<ul style="list-style-type: none">• 花咲スポーツ公園新アリーナ基本計画についてですが、プロスポーツや多機能な機能に対応した施設の整備の建設が望ましいと考えます。• 基本構想に記載のある5,000席以上の観客席数を確保し運営することを踏まえると花咲スポーツ公園内の建設は、駐車場整備、バスなどの増便、除排雪など課題が多く考えられます。• アリーナについては、多機能性を確保し「街なかにぎわい創出」を実現し長期的な運営を想定する場合、神楽地域の現クリスタルホール付近に建設するのが望ましいと考えます。神楽地域には、文化施設や道の駅、広大な敷地に駐車場もあり、旭川駅から徒歩でのアクセスにたけています。バス会社の人員不足は今後さらに悪化することが予想されイベントごとの公共機関バスの増設、駐車場の確保など課題が多くなります。• 神楽地域では、近い将来大雪アリーナや道も駅等も含め総合的な整備を実施できることから、フードフォレスト旭川としての取組、地元食材の活用などテナント誘致などに有利と考えます• 今後、少子高齢化や人口減少等により財政運営で厳しい状況となることが予想され、新アリーナを持続可能な施設としていくためにも多機能化し、従来のコストセンターではなく、プロフィットセンターとしての公共施設に転換を図る必要があると考えます。	<ul style="list-style-type: none">• 今回の新アリーナ建設は、花咲スポーツ公園全体の再整備の中で、その核となる施設とするとともに、アリーナを中心とした周辺を含め、民間事業者からの投資の可能性も含め検討するものです。• 基本計画の検討の中で、人口減少や高齢化のほか、スポーツをする市民の割合や新たなスポーツへのニーズなど、様々な視点でプロフィットセンターに向けた新アリーナの在り方を検討してまいります。• なお、クリスタルホール周辺へのアリーナ整備につきましては、今後、大雪アリーナの在り方に関する議論の中で検討させていただきます。
---	---	--

<p>6</p>	<p>【テニスコート（主に軟式）について】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ナイターの設備（ライト）がない所があって、夜間使用できないことが多かったため、ナイター設備の強化をして頂きたい。また、照明が眩しくソフトテニスのボールの色と重なるので見にくいので、昼光色～暖色の照明を取り入れて欲しい。 • 防風ネットの設置（観戦に影響が出ない程度で） • 観客席の日光や雨天時（小規模）の対策 • トイレの増設（大会時に激混み、特に大便器が1つしかないのは致命的 {男}） • トイレ含めその周辺が臭い。 • 受付の人の態度が悪い(利用していた中・高6年間ずっと言われていた) • 自転車置き場の増設 • 自販機にカルピスを置いて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> • いただいた御意見につきましては、今後の事業等を検討する際の参考とさせていただきます。
<p>7</p>	<p>北海道のど真ん中、北海道第2の都市「プロスポーツやライブ・コンサートなど多目的な用途に対応したプロフィットセンター機能を有する多目的アリーナ」を建設することに大いに賛成する。</p> <p>一方、新たな要素の追加として「市民の安全・安心に寄与するために災害時における防災拠点機能の強化を検討する」ことに関しては、考えない方が良い。</p> <p>多目的で多機能を追求すると、すべてが中途半端な施設になり兼ねない。</p> <p>新アリーナ建設に携わる職員は、他都市の同様施設をより多く視察し、視野拡大・知識豊富な人材育成に旭川市は注力して頂きたい。</p> <p>これ即ち、新アリーナ完成まで固定したプロジェクトチームを組むべき（異動させない）できれば、現総合体育館のアリーナ部分を改修してカーリング場へ作り替えてはいかがでしょうか。オリンピック選手輩出も夢ではなくなります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 御意見をいただきました防災の視点につきまして、現総合体育館は旧耐震基準で建築されており、耐震性が不十分なことから、花咲スポーツ公園内には屋内避難所がなく、能登半島地震に見られたように積雪寒冷地における冬期間の災害時対応の強化が必要であると考えております。今後予定されている新アリーナ基本計画の検討の中で、他都市の事例等を参考としながら、様々な視点で新アリーナの在り方を検討してまいります。